

平成 30 年度 摂津市立味舌小学校 第 2 回学校協議会 会議録

平成 30 年 10 月 11 日(木) 19 時～

於：本校南棟 1 階学習室にて

記録：羽田 行伸（事務局 本校教頭）

参加者：榎谷佳純様、門野さとみ様、吉田栄子様、小澤香織様、高森佳代子様、中居正一様、
前田文雄様、河合隆之様

学校参加者：校長 前馬晋策、教頭 羽田行伸

欠席者：以登田毅様

1. 校長よりあいさつ

2. 議案

①これまでの取組みと今後の予定について

8 月 6 日 平和登校日 出席率およそ 8 割 平和登校日は出席日数にはカウントされない。

校内研修 国語・道徳

8 月 8 日 摂津市立小中学校教職員 全体研修会

管外視察の報告・・・本校教員も報告（四万十町立窪川小・中学校）

8 月 16 日 校務用 PC 入替作業

8 月 19 日 すこやかネット行事 鮎つかみ（青少年指導員主催行事）

8 月 24 日 すこやかネット行事 コンサート（第 1 児童センター主催）

8 月 25 日 正雀たそがれコンサート

8 月 27 日 始業式

8 月 30 日 連合水泳大会 簡易テント設置（暑熱対策）

9 月 2 日 市 PTA 協議会 スポーツ大会（キンボール）

9 月 3 日 運動会練習開始

9 月 4 日 台風 21 号による臨時休校

9 月 14 日 教育実習生研究授業

9 月 20 日 国語研究授業（2 月 7 日(木)本校研究発表会に向けて 5 年 1 組で実施）

9 月 30 日 臨時休校 運動会延期

10 月 3 日 運動会

10 月 3 日～5 日 校長出張（全国校長会 北海道函館市）

10 月 7 日 市民体育祭

10 月 10 日 4 年生遠足（万博記念公園・ニフレル）

10 月 11 日 5 年生稲刈延期→15 日に実施

10 月 12 日 避難訓練（火災）リアリティを追求しつつ、実施する。

10 年目経験者研修 研究授業

10 月 22 日～23 日 6 年生修学旅行（広島県 平和記念公園、蒲刈島）

10 月 25 日 2 年生遠足

10 月 28 日 日曜参観・PTA カーニバル

②運動会について

(校長) 子どもたちは満足していた。台風のため延期となり、平日に開催したため、保護者の参観はやはり少なかったように感じた。これから、皆様にご覧になられた感想も含めてご意見をお伺いしたいと考えている。

●当日（プログラム、進行、児童の様子）

(委員) 競技のネーミングも含め、面白かった。

(委員) ダンスではそれぞれの学年が工夫していた。1年生が扇子を合わせて表現をしていたのはすごかった。

(委員) 一番感激したのは、6年生が退場の時にグループであいさつをしていたこと。

(校長) 徒競走で児童が手を抜かずに最後まで一生懸命走っていたのは感心した。進行についてはいかがでしょう？私はのんびりしているように感じた。

(委員) 協議の退場の時に、一生懸命走っている姿がよかった。

(校長) 児童の様子はいかがでしたでしょうか？

(委員) いつもは本部の後ろに入ってくる児童がいたけど今年はいなかった。

(校長) 来賓のあいさつのときに、1年生を中心に一生懸命返事をしていたのも、児童たちの張り切りの姿であったと思う。応援団も、一生懸命応援をしていた。

●準備（PTA・地域との連携）

(校長) 準備についてはPTAとの連携が必要であるが、いかがでしょうか？

(委員) スムーズに連携が図れたと思う。

(校長) テントの準備を自治会に依頼をしていたが、台風の影響でテントを立てないこととなり申し訳ありませんでした。準備がなくなったにも関わらず手伝いに来てくれていた地域の方もおられて申し訳ありませんでした。

(委員) 自治会長には連絡が入っていたが、手伝うつもりの方に連絡が入らなかったようだ。そのあたりの連絡を徹底していくことは今回の改善点の一つと思う。市民体育祭のときにも同様のことが言えるので、検討していかなければならない。

●事前の取組み（1か月の練習期間）

(校長) 私は1か月間の練習期間は長いと感じている。授業時数の問題や未履修の問題が世間で話題となっている中で、これでよいのかと思うこともある。卒業式の練習でも同じことが言えると思っている。その点についてはいかがでしょうか？

(委員) 子どもは楽しかったといていた。

(校長) 教員が練習でペースを上げて、本番の10日前ぐらいにピークを持ってきてしまう。そのあと、子どもたちが疲れてしまったり、教員が子どもたちを叱ったりしてしまう場面も見られた。

(委員) 4年はエイサー、5年はソーラン節、6年はこれまでは組立体操と固定されてきていたものがあり、前年度以上のものを完成させなければならないという使命感が担任の先生たちにあるのでは？

(校長) 過去、表現活動に取り組んでみたこともあるが、保護者受けはよくなかった。

(委員) そういったことを関係なしに考えるとしたら、市民体育祭と一緒に抱き合わせてやることも考えていけばどうか？子どもと地域との連帯感を深めていく意味での行事とする

ことも一つかと思う。

ダンスクラブがやるような表現活動と同じことをやって、それがすべての児童の満足感につながっているのか？徒競走なども含めて、全員が同じことを同じ種目の中でやって、そのことでしんどい思いをしている子どももいるかもしれない。

(校長) 自分のお子さんがおられた時期のことも思い出していただいてどう感じていますか？

(委員) 先程の連水で表彰がなくなったということも聞いているが、運動会でも表彰をすることは必要だと考えている。競争の原理は社会に出たときに必ず反映されていく。そういった意味では大切なことと考えている。

(校長) 去年との比較、学年ごとの比較をしてしまい、教員側は「より良いものを見せたい」と気にしているところがある。去年取り組んでいた学年の先生からダンスの指導を受けたり、YouTube で映像を見ながら練習していたりとほほえましい光景も見られることもあった。

●今後（開催時期について）

(校長) 開催時期について皆様から積極的に意見をいただきたい。摂津市は全市的に時期をそろえようという傾向があり、それはいいところでもある。しかし、5月や6月に運動会を実施することで、学級や学年づくりで行事を活用することができるし、2学期が始まってしばらくは落ち着いて勉強に向かう時期を設定できる。

(委員) 高校では、新しいクラスとなって6月に体育祭を実施することでクラスの団結が深まるということを知っている。私は5月から6月に運動会を実施することは賛成である。

(校長) そうすれば、市民体育祭も生きてくるとも考えています。

(委員) 小学校1年生の子が1学期のこの時期に運動会を実施することに影響があるのではないかと？1年生は1学期を終えてしっかりしてくる子が増えてくる。そのことを思えば、秋に実施するのが1年生の児童にとっては良い面もあると思う。

(委員) 私も同じことを考えていた。今日も登校する児童を見ていて、この半年の成長の大きさを感じている。学校の中で先生や友達と過ごす半年の時間の大きさを感じる。

(委員) 私も同じことを考えています。幼稚園を卒園して小学校に入学をした1年生がお母さんに手を引いてもらいながら登校している姿を見ているとそう感じる。

(委員) 他の学校では、6月に合唱に取り組んでクラスづくりを行っているところもあるだろう。

(委員) 我々の時代では運動会は秋で固定化されていた。民生さんの心配もあるだろうが、幼稚園でも運動会は取り組まれており、みっちり鍛えてもらっているところもあるだろう。秋開催から春開催に移行している学校が多いのはその答えではないだろうか。

(校長) 運動会は秋、という季節感も気候の変動でなくなってきているところもあるだろう。

(委員) 高校で春にやっているのは、進学や就職を控えていることもあると聞いている。しかし、9月の時期の暑さを考えると、春の時期にやるほうが健康面や安全面ではよいと考えられる。

(委員) 摂津小で昨年度校舎新築工事のために春開催をしたときに、1年生の指導で課題があったとも聞いている。次年度の新入生に今年の1年生のようなことができるかどうか、ということに関しては先生方の指導に大きく影響されると思う。

(校長) 校長同士の話でも「昨年通りに行う」という風潮があり、あまり開催時期のことで議論にならない。

(委員) 学校で取り組もうとしていることに対して、地域や保護者などの周りがどうサポートし

ていくことができるかどうか、ということも考えなければならぬと感じる。

- (校長) 運動会の目的も併せて考えなければならぬですね。
- (委員) 例えば、『1年生でダンスに取り組み、完成させなければならぬ』と縛ることも一つの固定観念。開催時期に応じて、プログラムの内容も考えていけばよいのではないか。
- (委員) 夏休み中に先生がダンスを考えていくことに尽力している情熱を聞くと、その先生方の情熱を向ける時期などもしっかりと踏まえ、取り組む必要もある。
- (校長) 確かに、前年度の比較にスポットが当たると、『昨年度より良いものを見せなければならぬ』という教師の使命感の道具として子どもが使われている状況にもなりかねない。春と秋のどちらもメリットとデメリットがある。PTAからも意見を頂戴しながら、しっかりと検討し、学校側で決定していきたい。

③清掃について

- (校長) 清掃も、目的がある中でこの間も見て回っていると、手持無沙汰となっている子がいたり、ノート等の点検に追われている先生もいたり、本来の目的から離れている現状もある気がする。ご意見をいただけますでしょうか？
- (委員) みんなまじめにやっている印象がある。自分たちの時にはもっと不真面目だった気がする。
- (委員) 私も同じように感じた。先生がいない理科の実験室をまじめに掃除し、水滴が残っている窓ガラスをしっかりと拭き取るなど丁寧に掃除をしている印象だった。実際に家でちゃんと掃除をしているかどうか？箒を使って掃除をするかどうか？そういった経験をしていることも貴重であると思った。
- (委員) 私の同僚が体操をやっており、体操の一環で雑巾絞りの動きを行うが、その姿がとても美しかった。すなわち雑巾絞りをきれいにする習慣があるということだと思う。それを見ると、習慣作りも大切だと思う。
- (委員) 掃除も習慣として身につくことも確かに大切だと思う。それと同時に、『きれいにする』という目的もとても大切だと思う。ゴミがあるところにはゴミが捨てられる。逆にゴミのないところはきれいに保たれるということもあるので、年に数回業者が来て徹底的にきれいにしてもらうことも必要かと感じる。
- (校長) 確かにきれいにしようとしても、子どもの手では徹底できないところもある。この間、予算要求のヒアリングがあり、そこで清掃のプロを派遣してもらうことはできないかと聞いたが、校務員がいるからと返答があった。校務員は広い敷地の中で環境美化（草抜きや側溝の掃除も含めて）や整備に努めているところもある。トイレや廊下、外のガラスなどをプロに徹底的にきれいにしてもらうということを子どもたちに見せてもよいかと思う。業者がだめなら、地域のボランティアに協力をしてもらい、ってもらうことも考えてもよいのでは？
- (委員) 摂津小では年間1回、地域でボランティアが清掃活動を行っている。
- (委員) 学校も公的機関であるということと考えたら、市民のものである学校にも清掃員派遣のための予算を組むこともあってもよいと私は考えています。
- (校長) そういう意味では、子どもも市民であり、市民のために・・・ということも考えることもあってよいかもしれませんね。
- (委員) シルバー人材センターへの委託も含め、検討してよいと思う。学校がきれいな場所であることから、子どもも教員も学校に愛着を持つことができると思う。そういう意味では、

行政が学校をきれいにするための方策（予算配当や人的配置の委託など）を講じることはとても大切だと思う。清掃を子どもにさせることも教育的側面はあるだろうが、行政としても公的機関である学校をきれいにするための方策を考える方が良いと感じる。

（委員） 自分の子どもが雑巾絞りを覚えたのも学校での掃除があったからで、経験としては大切なことだと思っている。しかし、清掃箇所が多いとか時間が限られているとかの理由で十分掃除されておらず、きれいではないところがあるのも良くないと感じる。学校をきれいにするための行政の予算はぜひとも組んでもらいたいと思う。

（委員） 例えば、掃除を放課後にはいけないのか？昼休みは先生たちも次の授業の準備があるだろう。

（校長） 昔私は高槻で放課後に掃除をしていた。途中で給食の後に変わったが。放課後の掃除を行ったときに、トラブルや教員が十分点検できずに会議に行ってしまうなどもあり、問題があったから今の形になったのだろう。

（委員） 子どもの管理上の問題点については十分理解できるし、納得するところはある。

（校長） これまで学校から行政に予算要求を積極的にしてこなかったところもある。これからしっかりと働きかけていきたいと思う。

3. その他

《次回審議事項》

①給食を通じた食育について

（校長） 一斉に「いただきます」をして同じものを食べることは、全世界的に見ても日本の独特の文化である。欧米では食事はビュッフェ形式で、好きなものを食べてよい。日本ではそうはいかず、嫌いなものがあって食べられないことが非難されることにもなる。児童はみんな給食が好きである。教師はこれまで行ってきたことなので当たり前のように給食指導を行っているが、給食指導がなければいぶん楽になると思っているところもある。食缶をひっくり返してしまったり怪我などにつながる恐れがある。食物アレルギーへの対応もある。

給食が『画一的な教育』の象徴である側面もある。幼稚園は希望者が減る傾向がある中で、べふこども園は給食があるから幼稚園の人气が衰えない。給食が行われることは、保護者はとてもありがたいと思っている。

②修学旅行について

（校長） 平和学習としての修学旅行の意義・目的がある。今後、再来年度の修学旅行の行き先や旅行業者等を選定していく。費用が一泊二日で2万円を超えてくることも課題の一つ。意義・目的の一つに集団活動・体験学習もある。思い出作りをメインに持つてくることも考えなければならないのではないか。ちなみに私は岡山でした。

（教頭） 私は茨木市で明治村と鈴鹿サーキットに行きました。

（委員） 私は伊勢でした。

（委員） 私も伊勢で、味舌小学校から行きました。

（委員） 私も伊勢です。味舌小学校です。

（委員） 私は四国の小学校で、大阪に来ました。

（委員） 私は羽曳野で、伊勢に行きました。

（委員） 私は大阪市で伊勢に行きました。

(委員) 私も味舌小学校で伊勢に行きました。

(委員) 私は吹田市で広島に行きました。

(校長) 昭和 60 年を境に、鳥飼西は伊勢から広島に行き先を変更した。今は淡路島に行くところもあります。次回またいろいろご意見を頂戴できればと思っています。そこで、学校評価のことについても触れ、関係者評価をその次の会でお願ひしたいと考えております。

4. 閉会のあいさつ

次回 平成 30 年 11 月 29 日 (木) 19 時より
摂津市立味舌小学校 学習室にて